

税理士のひとりごと

税理士の佐藤です。

兵庫県議会から不信任を議決された斎藤



知事は、26 日午後、県庁で記者会見を開き、県議会は解散せず、自らの失職と知事選、再チャレンジの道を選びました。

本人曰く、「今回の問題は、私の対応などがおかしいということなので、みずから信を問うことが大事だ」と述べ、知事選に再出馬し自らの評価を県民に問うとしました。

皆様も報道等でなぜ県議会全員から斎藤知事へ不信任決議がなされたかをご存じでしょう。しかし、本人やその周りの人たちには、何が今回の騒動の本質なのかを理解できず

自分中心の世界では非がないとお考えのようです。。

本人によると「至らないところや未熟なところがたくさんあり。。」と些細な事で大騒ぎになっていると言いたいのでしょうか。確かに、県職員の分もカニを貰って帰った等のおねだり疑惑やパワハラ疑惑をマスコミが取り上げますが面白おかしくしている面もあるのかも知れません。

しかし、この知事が自己保身のために隠匿を図ったことが原因でお二人の命がなくなりその家族が悲しくやりきれない思いをしている事実はとても重要です。斎藤知事の評価につきましては再選挙での県民の行動を見守りましょう。

さて、経営者の中にもまれに「お山の大将」という方もおられます。私たちは「人のふり見て我がふり直」してゆきたいものですね。。

トップは辛い

私たち経営者は「常に判断を迫られ」るので従業員から見たら社長はいつも「イライラ」



していると感じる事が多いのは事実でしょう。なぜなら、会社経営とは困難を乗り越える事の繰り返しという苦行だからです。

生来、パワハラ気質の経営者もどこかにはいるでしょうが。。この人手不足の世の中では、小さな会社のトップが怒鳴り散らしていれば、待遇の良い公務員と違い社員はすぐ辞めてしまいます。経営者が怒鳴り散らし

て結局は自分の首を絞めるかたちになってしまいます。

そこで今月は「怒り、イライラのコントロールで、職場が変わる！ 成果が上がる！」との魅力的なサブタイトルの本書、「**パワハラ防止のための アンガーマネジメント入門**（小林浩志著、東洋経済新聞社）」で学びましょう。

パワハラ？

「正しい」自分が、「間違っている」部下に指導又は教育してやっている思いこむ事は多々あるでしょう。。本書では「恫喝」と「指導」の違いについて「業務内容に関係ない人格

攻撃を大声で浴びせれば、それは恫喝であって指導ではないといいます。

また、「怒る」と「叱る」の違いは「自分の損得のために怒る」で「相手の成長のためには叱る」と書いてあります。冒頭の斎藤知事は東大を卒業されるぐらい優秀なのですがこの辺の違いはご存じなかったようですね…。

早死にしないために

「怒りっぽい人が早死にしやすい」という様々なデータがあるようです。スペインの大学病院は攻撃的で怒りっぽい性格の人は、脳卒中のリスクが高いとの研究結果を発表しました。また、オランダ医学会の調査では、激高してすぐ怒鳴る人は、そうでない人に比べ42%突然死する確率が高くなるようです。

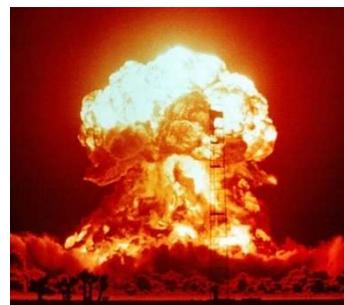
序盤で、パワハラ気質だと社員がすぐ辞めると書きましたが、それをする事によって自身の寿命も短くなるので怒りの感情を抑える事は重要です。

トップがなぜキレるか？

怒りが爆発するには「法則」があるようです。怒るという感情(第二次感情)の前には、その起爆剤となる感情(第一次感情)が前提にあるのです。

冒頭でも触れましたが、経営者(トップ)は常に何らかの問題を心の中に抱えています。たとえば、売上減、資金繰り、従業員の不始末・退職・休職等々、トラブルの連続でイライラを抑えて一見平静を装っている状態(第一次感情)が現実でしょう。

そこに油を注ぐようなトラブル(第二次感情)が重なる事で怒りが爆発してしまいます。従業員や家族からすると、この人(トップ)は「なぜキレる？」と感じる事もあるでしょうが、相田みつを氏曰く、経営者も「人間だもの…」だからです。



怒りを抑える

私たちより優秀な、大臣や大学教授、弁護士などの高度な知識や見識をお持ちの方が怒っている姿を皆さんもご覧になった事があるでしょう。人間が怒りの感情を無くする事は不可能なのではないでしょうか！？。

しかし、さきほど紹介した怒りの感情が起こるメカニズムや怒りにより早死に至るというリスクをご理解頂き、くれぐれも不用意な言動(怒る感情)を控えましょう…。それが、会社の成長にもつながります。

だれにだってあるんだよ ひとにはいえないくらしみが
だれにだってあるんだよ ひとにはいえないかなしみが
ただだまっているだけなんだよ いえば ぐちになるから

(相田みつを)

編集後記：

政治ジャーナリストの田崎史郎氏は自民党の新総裁に選ばれた石破茂氏の人物評を「カレーライスをこよなく愛し、無類の鉄道ファンであり、高校時代からキャンディーズの大ファンで、政界きってのアイドル通を自認している」といった多趣味を紹介しました。

私も経営者の皆様には、趣味などで無心となるひと時を持つようにお勧めしています。それがストレス解消の秘訣です(寿)。